

令和1年度事業報告

■運営の概要

平素より全国の会員、指導者の皆様には、才能教育運動推進のため多大なるご尽力を賜り、深く感謝申し上げます。

令和1年度の事業が終了しましたので、その概要をご報告いたします。

今年度後半の2月より今日に至るまで、新型コロナウイルスの世界的感染拡大という我々が経験したことが無い困難に見舞われ、本会活動も多大なる影響を受けました。

全国の学校が休校となる中、本会も対面レッスンの中止要請やオンラインレッスンの推進、4、5月分の会員会費免除などの決断をしたほか、ピアノ科卒業演奏会の中止やピアノ科チルドレンコンサートの延期を決めるなど、日々変化する状況に対応すべく、理事会も連日の協議を続けて参りました。

しかしながら感染拡大の収束は見通せず、今後しばらくは厳しい運営を余儀なくされることが予想されます。普段のレッスンをはじめ、新規生徒の募集にも大きな影響があることと思いますが、オンラインレッスンも取り入れながら、スズキ・メソッドで学ぶことの意義を発信していきたいと思っておりますので、引き続き皆様のご協力をお願いいたします。

今年度前半は、夏期学校や全国指導者研究会を例年どおり開催しました。

夏期学校には、昨年同様多くの方にご参加いただき教室レッスンやコンサートなどの充実した時間を過ごしました。また全国指導者研究会にも多くの先生方が参加され、指導研究や講演などをおして研鑽を積みました。

毎年の課題である指導者養成については、より多くの方に受講していただくため、8月と2月に指導者を目指す方に対する説明会を実施しました。

新年度も、スズキ・メソッドのPRと合わせて、スズキの指導者のPRも行いながら指導者養成に努めたいと考えております。

また、1月には豊田耕児名誉会長のマスタークラスを受講している先生方による、初めてのコンサートを開催しました。

多くの生徒の指導をしながら、自らも研鑽を積む先生方の素晴らしい演奏を多くの方に聴いていただくことができました。

会員数の動向については、年間374名の減少がありました。退会者総数は前年と大きく変わらない中で、入会者総数が大きく減少しています。2月以降、新型コロナウイルス感染拡大の影響で体験会等が行えなかったのも理由として考えられますが、今までも増して、指導者、会員、理事会が一丸となって入会者の増加に注力する事が重要であると考えています。

新年度も新型コロナウイルス感染拡大の影響により、全国指導者研究会をWebによる講演会に変更したほか、夏期学校も中止となってしまいました。そのような中「スズキ・メソッドおうち夏祭り2020」のような新しい試みにも取り組んでいます。

来年には新たな業務システムが導入され、会員それぞれがMyページを持ち、会費を納入したり、自分の登録状況を確認出来るようになったりと、本会との繋がりが更に強化されます。

会員減少や新型コロナウイルスの影響など不安要素もありますが、関係者全員が協力してスズキ・メソッドの普及と音楽文化の発展のため、才能教育運動を推進していきたいと思っておりますので、皆様のご協力とご支援をよろしくお願いいたします。

■公益目的事業報告

I 講座、セミナー、育成

(1) 第68回夏期学校

開催日程：令和1年7月30日（火）～8月2日（金）

開催場所：まつもと市民芸術館、あがたの森文化会館、松本市勤労者福祉センター、
松本市中央公民館、松本市第三地区公民館、深志神社、エクセラン高等学校、
才能教育会館、スズキ・メソッド研究所

海外からの参加者約150名を含む総勢2,200名を越す参加者を迎えて夏期学校を開催しました。
参加された皆さんは暑さにも負けず、課題曲ごとの教室レッスンやグループレッスン、招待講師
によるマスタークラスを受講したほか、コンサートに出演するなど充実した時間を過ごしました。

参加生徒数

	ヴァイオリン科		チェロ科		フルート科		ピアノ科		合 計	
	生徒数	前回比	生徒数	前回比	生徒数	前回比	生徒数	前回比	生徒数	前回比
国内	574名	-6	69名	-20	26名	6	120名	13	789名	-7
海外	38名	-26	3名	2	6名	3	12名	-1	59名	-22
合計	612名	-32	72名	-18	32名	9	132名	12	848名	-29

(2) 2019年全国指導者研究会

開催日程：令和1年6月3日（月）～6月6日（木）

開催場所：まつもと市民芸術館

全国の指導者が松本に集い、特別講師のほか外部講師をお招きして全国指導者研究会を開催しました。

参加指導者が、研究発表や楽器科ごとの指導研究を受講したほか、3日には特別講師によるコンサートが開かれ、4日には土屋秀宇先生による基調講演、6日には酒井邦嘉先生、早野会長、宮前丈明先生による音楽教育と脳科学の鼎談も行われました。

(3) 0～3歳児教室

開催日程：通年

開催場所：全国7ヶ所 所沢、鎌倉・藤沢、津田沼、長野、富山、名古屋、西宮

（自主運営教室：麻布、松本、長野(4月より)）

0～3歳児とその保護者を対象に全国7ヶ所で教室を開設し、延べ124組の親子が受講しました。
特別講師の村尾忠廣先生監修による専用の教材の製作、指導者認定の制度整備等、事業拡大と充実のために積極的に活動しています。

(4) 生涯学習教育

子どもに限らず、大人も音楽に親しむ機会を作るため、専用のHPを公開して教室案内を行っています。

今後は、大人が参加しやすい事業を開催するなど、生涯学習としての音楽教育も積極的に進めていきたいと考えています。

(5) 准指導者制度、初級指導者制度による指導者養成

開催日程：通年

開催場所：研修生在住地域 他

スズキ・メソッドの指導者認定を目指し、准指導者養成制度研修生4名（V科3名、P科1名）が日々研鑽を積んでいます。

また、准指導者制度では3名（P科）、初級指導者制度では6名（F科1名、P科1名）の新指導者が誕生しました。

更に多くの指導者育成を進めるため、令和1年8月29日にカワイ名古屋コンサートサロン「ブルーレ」、令和2年2月9日に「新大阪駅前コプロザホール」にて指導者養成事業の説明会も開催しました。

指導者認定者

正指導者認定者 堤 一季(V)
 准指導者認定者 小田嶋直子(P) 川口紗奈江(P) 竹内 来夢(P)
 初級指導者認定者 安達 裕子(F) 大久保 彩(P) 須田アユミ(P)
 新田かおり(P) 森 久乃(P) 米田 彩子(P)

(6) 卒業検定

開催日程：令和1年10月～令和2年3月

生徒の目標と意欲作りを目的に卒業検定が行われ、下記のとおり卒業認定されました。

令和1年度卒業生数

	ヴァイオリン科		チェロ科		フルート科		ピアノ科		ヴィオラ		合計	
	卒業生	昨年比	卒業生	昨年比	卒業生	昨年比	卒業生	昨年比	卒業生	昨年比	卒業生	昨年比
前期初等科	460名	-63	38名	-23	14名	9	437名	-25	2名	1	951名	-101
初等科	414名	-6	35名	-15	6名	-3	325名	34	0名	-1	780名	9
前期中等科	393名	30	—	—	2名	-2	244名	2	0名	-1	639名	29
中等科	305名	-33	31名	1	4名	-2	180名	1	0名	0	520名	-33
前期高等科	251名	-7	26名	-9	2名	1	117名	-27	1名	1	397名	-41
高等科	204名	1	29名	-6	1名	-2	88名	-36	0名	0	322名	-43
課程卒業	147名	18	17名	2	1名	-1	73名	12	0名	0	238名	31
研究科A	88名	2	6名	-9	0名	0	43名	-20	0名	0	137名	-27
研究科B	73名	-4	7名	-6	0名	-3	59名	9	0名	0	139名	-4
研究科C	50名	-12	12名	-1	2名	1	—	—	0名	0	64名	-12
合計	2,385名	-74	201名	-66	32名	-2	1,566名	-50	3名	0	4,187名	-192

II 調査、資料収集

(1) 資料収集と整備及び公開

スズキ・メソードの情報発信のため、機関誌と才能教育通信を刊行したほか Web マガジンの MonthlySuzuki を毎月1日に配信しました。

機関誌 204号～206号、通信 789号～791号 (791号はデジタル配信)

MonthlySuzuki 記事 89本

資料整理とデジタル化作業

過去の音声や映像、文書等を長期保存するためのデジタル化作業を進めました。

(2) 指導者による研究

教育部運営委員会

令和1年 8/19・20、11/25・26、令和2年 2/15 (松本)

令和2年 4/20、5/31 (Web)

指導者から選出された委員により、教育部に係わる事業、制度等に関する検討を行いました。

スズキ教育法委員会

令和1年 6/29、8/20、11/25、12/10・11 (松本)

令和1年 7/23、令和2年 1/19 (Web)

令和2年 1/25 (研究会)

鈴木鎮一先生からのメッセージ CD 製作

ヴァイオリン科研究会 令和2年 2/9 (大阪)

モーツァルト 練習用ピアノ伴奏 CD 製作

チェロ科研究会 令和1年 11/28・29 (諏訪)

フルート科研究会 令和1年 11/30 (東京)

各科委員会 随時

(3) 信州大学との共同研究

人文学部の高瀬准教授を中心に研究が進められています。

(4) 東京大学との共同研究

音楽の習得や演奏評価に関係する脳メカニズムを特定するために、東京大学大学院総合文化研究科の酒井邦嘉教授と共同研究を進めています。

この研究の経過は全国指導者研究会等で報告されており、最終成果は国際誌に査読付論文として発表され、音楽及び脳科学の学界に貢献することが期待されます。

Ⅲ 主催公演

(1) 豊田耕兒先生マスタークラスコンサート

開催日程：令和2年1月26日（日）

開催場所：才能教育会館ホール

自らの研鑽を積むためにマスタークラスを受講している6名の指導者等によるコンサートを開催しました。

当日は多くの来場者のもと、素晴らしい演奏が披露されました。

(2) 鈴木鎮一記念館コンサート

開催日程：令和1年7月28日（日）第13回子どもたちによるコンサート

令和1年12月1日（日）伝田正秀ヴァイオリン・リサイタル

開催場所：鈴木鎮一記念館

入場無料のコンサートを開催して、音楽に親しむ機会を広く提供しており、毎回多くの方にご来場いただいています。

また、より多くの方に来館していただき、鈴木先生の功績に触れていただく事を目的として「歌声サロン音楽の小径」を新たに開催しました。

今年度は7月以降2月まで毎月1回開催し、毎回50名ほどの方が参加されています。

開催日：7/21、8/18、9/15、10/20、11/17、12/15、1/26、2/16（3月以降は新型コロナウイルス感染拡大を受けて休止）

(3) アジア・パシフィック・チェロ・コンGRESS 2020（協賛）

開催日程：令和2年2月7日（金）～9日（日）

開催場所：サントリーホール

日本チェロ協会が主催したチェロコンGRESS最終日のチェロ・グランド・コンサート第1部前半に、チェロ科生徒86名が出演し好評を得ました。

また10日には、チェロ科主催の「Asia Pacific Suzuki Cello Workshop」がアルカディア市ヶ谷にて開催されました。

(参考) 全国5か所で開催を予定していたピアノ科卒業記念演奏会は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止。5月に予定していたピアノ科子どもコンサートは令和2年10月に延期となりました。

Ⅳ 助成

(1) 奨学金事業

受給申請がなかったため、今年度は実施しませんでした。

Ⅴ 地域文化活動協力

(1) 情操教育事業（松本市内において通年）

松本市と共同で市立幼稚園・市立保育園においてCD鑑賞を通じた情操教育事業を行っています。また、松本市近郊の指導者が中心となり、市内約半数の幼稚園・保育園を対象に訪問演奏を実施しました。

(2) 演奏協力（随時）

自治体や各種団体からの要請に基づき歓迎演奏などを行い、好評を得ています。

(3) 鈴木鎮一記念館の管理運営（通年）

松本市所有の鈴木鎮一記念館の指定業者として、来館者への対応等の管理運営を行うほか、無料のコンサートを開催しています。

(4) 学校法人長崎日本大学学園との協力

スズキ・メソードを通して音楽を愛好し、高い演奏技術を持つ人材を育成し、また、抱擁能力のある人間性をつくる教育をもって地域文化の向上に貢献するため、長崎日本大学学園からの要請に基づき本会認定指導者を派遣しています。

(5) 学校法人博多学園との協力

学校法人博多学園の併設校博多高等学校看護科のスズキ・メソードによる音楽授業実施のため、本会認定指導者を派遣しています。

(6) スズキ・メソード幼児教育研究会との協力

幼稚園教育におけるスズキ・メソードの実践に協力するほか、本会認定指導者を派遣して園児に対する音楽指導を行っています。

(7) スズキ・メソード認定指導者派遣要請に対する指導者派遣

全国の幼稚園、保育園からの指導者派遣要請に応じて、本会認定指導者を派遣し正課プログラムとしてヴァイオリンの指導を行っています。

(8) 総合舞台劇「音にいのちあり～鈴木鎮一 愛と教育の生涯～」への協力（共催）

松本市・松本市教育委員会が主催する松本市芸術文化祭 60 周年記念事業に共催として協力しました。令和 1 年 9 月 29 日にまつもと市民芸術館主ホールで行われた 2 回の公演には多くの方が来場され、スズキ・メソード松本支部の生徒も演奏参加しました。

VI 支援

(1) 災害支援（随時）

東日本大震災の災害支援の一環として、郡山支部に対して支部運営費等の補助を行いました。

VII その他

(1) 広報活動（随時）

MonthlySuzuki や Facebook などを通じて、積極的に情報発信を行いました。

(2) 副教材販売（随時）

ピアノ科教則本など、指導に必要な副教材の販売を行いました。

(3) 代教事業（随時）

本会認定指導者が病気等により指導ができなくなった際の代教申請の受付と、本会認定指導者の派遣を行いました。

■収益事業

I 才能教育（スズキ・メソード）の関連商品の開発・企画・制作・販売

既存のスズキ・メソードの書籍・CD 等関連商品の販売を行いました。

実施時期：通年

II 所有建物等の賃借等

本会が所有するスズキ・メソード研究所、吉祥寺教室、西武教室、埋橋住宅を貸し出して家賃収入を得るほか、才能教育会館のホールを貸し出して使用料を得ています。

実施時期：通年

■法人活動

I 会議

- (1) 理事会（令和1年7/27、8/19、11/24、令和2年2/16、4/19）
本会運営に係わる事項の検討、決議等を行いました。
- (2) 第8期総会
実施時期：令和1年8月19日（月）
平成30年度決算書類などを審議しました。
- (3) その他必要に応じた会議
実施時期：必要に応じて

II 国際スズキ協会および海外のスズキ協会との連携

- (1) 国際スズキ協会理事会への出席
実施時期：令和1年10月14日（月）～16日（水）
実施場所：スペイン
ISA プレジデントの豊田耕児名誉会長、TERI 代表理事の早野龍五会長が出席しました。
- (2) 国際スズキ協会楽器科別委員会への出席
実施時期：令和1年10月16日（水）～18日（金）
実施場所：スペイン
F科委員会に宮前文明先生、V科委員会に蔵持典与先生が出席しました。
- (3) ティーチャートレーナー会議
実施時期：令和1年10月11日（金）～13日（日）
実施場所：スペイン
宮前文明先生(F科特別講師)、蔵持典与先生(V)、中島顕先生(C)、寺田義彦先生(C)
永田香代野先生(P)、松井恭代先生(O-3)が参加しました。
- (4) 海外のスズキ協会からの招聘に対する本会認定指導者の派遣
下記のとおり本会認定指導者等の派遣を行いました。

令和1年10月	松本 尚三先生(V)	Spring Festival in 2019 (オーストラリア)
平成29年2月から	菅原 尚子先生(P)	Hong Kong Kinder U Suzuki Academy へ派遣中 (香港)
令和1年6月	高橋利夫名誉教授(F)	The exchange visitor program at East Tennessee State University (アメリカ)